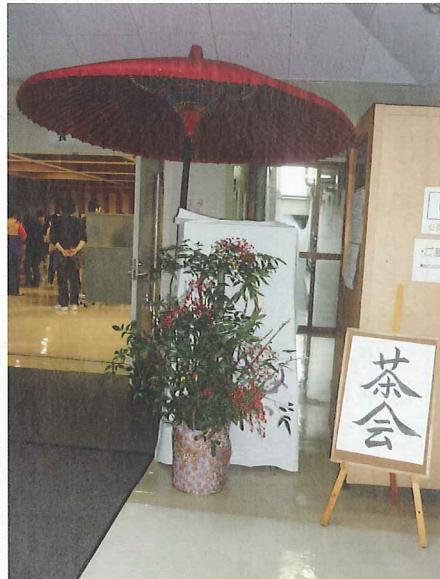


くまがわ

Vol.24

発行 2013年3月10日
八代更生病院 広報委員会



お茶会

年末恒例のお茶会が行われました。

皆様にお茶会の雰囲気と抹茶、お餅を楽しんで頂きました。

抹茶のおかわりをする方も多く、特にお餅は好評で「やわらかくて美味しい」との言葉が聞かれていきました。

Contents

- 新年のごあいさつ
- 精神保健福祉大会
- イベント紹介
- おせち料理
- 三中生職場体験
- OB会
- 学会発表

理念

地域社会に信頼される精神科医療をめざし、患者様に安全で安心される質の高いあたたかさと癒しの医療を提供します。

基本方針

1. 満足していただける医療を行います。
2. 快適な院内環境に努めます。
3. 専門知識の向上に努めます。

新年の御挨拶

新年明けましておめでとうございます。新しい年明けと同時に本年も皆様と一緒に、様々な物事に取り組んで行きたいと思います。

国民党の大きな期待で政権交代を実現した民主党は、3年余りの政権運営で国民の期待に応えられずに、昨年末の総選挙で又自民党政権に交代したのは皆様のご存知のとおりです。

国民党は、日本を取り戻すとの政権公約を掲げ、景気回復・デフレ脱却を柱に更なる財政出動による政策を実現しようとしています。しかし私たちを取り巻く医療界では、医療・介護による雇用の増加で景気回復へ大きく貢献するしながらも、益々進歩する高齢化に伴う医療費の増加は避けられず、政権交代したとは言うものの、実際的には医療への財政予算の増加はあまり期待できないと思われます。

医療経営環境は今後も厳しい環境が予想されますが、全員で地道な努力を積み重ねながら一層強固な基礎づくりに努力し、職員全員が安定・安心して働く様に職場環境を、整えてゆきたいと思います。

これからは、急性期病棟では様々な疾患の多様化が想定され、その他一般・療養・認知症病棟においての高齢化率は、益々上昇し、職員の皆様の労力は更に増加すると思われます。各病棟においては、入院患者回転率アップ・稼働ベッド率の向上に向けて、また栄養科・外来・事務ほかの部門においても昨年同様、1人1人のたゆまない努力を積み重ねてもらい、皆様とともに、今年1年多様な事案に取り組んで行きたいと思います。

平成25年1月



理事長 今村泰雄

年頭にあたって

平成25年は、今のところ静かに明けていっています。今年は平和でありますようにと祈念しましたが、一昨年から災害続きで今年も油断はできません。平和を祈るとともに災害に備えておく必要があります。

昨年は第6次医療計画で、「がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病」の4疾患に加え、精神疾患が入り5疾患5事業と在宅医療となりました。国の定めた医療計画の基本方針に即して、県は地域の実情に応じた医療連携体制を構築する医療計画を策定することになっています。精神科医療が日の当たる医療の場に出て行くのは気持ちが高揚しますが、一方で今まで以上に精神科医療に対して厳しい目が注がれることを覚悟しなくていけないだろうと思います。

当院では急性期病棟と精神科身体合併症に対応する精神科病棟を現在運営しています。ここでは一般科との医療連携が頻繁に行われています。精神科医療も進歩していますが、周りの医療もそれ以上のスピードで新しい医療に変わっていっています。精神科医療の枠の中だけで考え方行動しては、一般科との連携はぎくしゃくしてしまいます。周りが何を要求しているのか、こちらが何に応えられるのか、求められるものにどう応えていくのかを見極めていかなくてはいけません。以前と比べると、ある診療報酬を得るには、これまでの数倍の労力を払わないといけなくなっています。良い精神科医療を行おうとすればするほど、その作業量は増加しています。それでも、医療従事者は努力を惜しまずにつながりに進歩に進歩を重ねていくという使命を持っています。

認知症治療病棟も、今年は在宅医療、介護との連携を充実させて認知症医療の質を高めていこうと考えます。これまで当院は医療に特化して、その枠からはみださないように、まず



院長 宮本憲司朗

は認知症治療の質を充実させて参りました。認知症医療は介護との連携なしには成り立ちません。これからは認知症医療を更に磨きつつ、精神科ならではの介護を提供できるように計画を練っています。

就労は現代社会の大きな課題です。精神科領域でのうつ病のリワーク支援、精神障がい者の就労支援などにも力を注いでいこうと考えています。

第50回 精神保健福祉大会 <精神科医療永年勤続者表彰を受けて>

平成24年9月21日
准看護師 松山則子

先日、熊本県立劇場にて、熊本県精神保健福祉協会主催の協会表彰があり、当院から精神科医療機関永年勤続者（15年）として、看護部の5名（高橋美千代・松山則子・岩瀬 峰・中川美重子・志水銘子）が表彰を受けてまいりました。

会場に入って、まず目に飛び込んだのは、各施設から寄せられた作品が演劇ホールに所狭しと展示された光景でした。多種に渡る手作りの逸品達は、陶器・手芸・絵画のほか、パン・クッキー・小物雑貨まで揃っていました。笑みがこぼれる様な暖かみのある作品もあれば、クオリティーの高い立派な作品もあり、立ち止っては見入り時間が経つのを忘れそうになったくらいです。

ステージ会場に於いては、プログラムは滞りなく進行し、講師の小山明子氏（女優）による講演、「介護うつを超えて夫、大島渚を支えた15年間」が、行われました。

その内容は、美しく優雅なイメージの大女優にはおよそ縁のないような、苦労・心労の連續の日々であったようです。病気や生活、対人関係や仕事に悩みつまずきながらも、子供やご近所の主婦、また長年の友人の支えや援助もあり回復できた長い闘病生活の記録を、力強く語られました。

今回の永年勤続の表彰者は、32の医療施設で145名でした。多くの医療関係者が長年にわたり頑張っている事に感銘し、こころ新たな思いで一杯となりました。これからも、日々感謝を忘れずケアの向上に取り組み、八代更生病院の更なる発展の為に努力したいと思います。



仲間と一緒に思いで作った！

平成24年9月28日

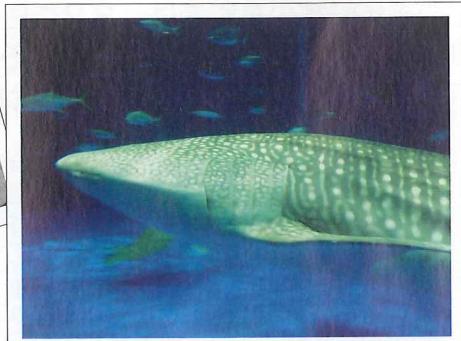
清々しい秋晴れの中、50名近いメンバーで仙巖園・鹿児島水族館へ行く片道2時間のバスの旅でした。1ヶ月前より自分達で旅行のパンフレット等を持ち寄り仙巒園の歴史や水族館について調べたりしました。

旅行では途中、車窓から見える桜島や錦江湾で泳いでいたイルカに歓声をあげました。次に仙巒園に着くと、広い庭を散策したりデイケアで取り組んでいるお茶の席の体験をしたりと思い思いに過ごしました。水族館では、「黒潮浪漫海道」をメインテーマにした「ジンベエザメ」や「エイ」が悠然と泳ぐ黒潮大水槽やイルカのショーを楽しみました。「とても迫力があって良かった。」「みんなで来れてよかったです。」等の感想が聞かれ、とても有意義な一日となりました。今回の旅行ではメンバー同士で協力し合うことや、協調性、仲間意識など多くのことを学べた旅行となりました。

◆桜島を築山に、錦江湾を池に見立てた雄大な借景庭園◆

仙巒園は、江戸時代初期に島津光久(19代当主)によって築庭され、中国龍虎山の仙巒にちなんで「仙巒園」と名付けられました。

四季折々の美しさに加え、桜島(築山/遠景)と錦江湾(池/中景)を借景に取り入れた雄大な風景が楽しめる大名庭園として、県民や国内・海外からの観光客に親しまれています。



リレーは見事3連覇!!やったぜ やっちらんピンキーズ

平成24年10月26日
パークドーム熊本

第19回ふれあいピックにデイケアより17名が参加しました。八代市内の病院・施設で「やっちらんピンキーズ」を結成しました。天候が悪くないのに雨でしたが、室内での開催で楽しむことができました。競技は綱引き、龍の綱わたし、食欲の秋、リレーなどがあり選手として活躍しました。競技中は応援にも力が入り盛り上りました。

最終種目の代表リレーでは1位で3連覇を果たし、総合3位という好成績を収めました。

「楽しかった。来年も参加したい」などの感想も聞かれました。



年に一度のお楽しみつ

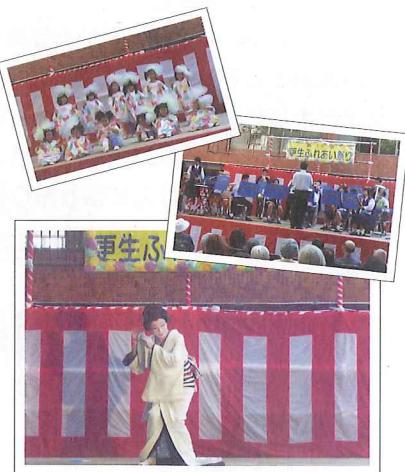
平成24年10月20日

晴天で清々しい風が吹くなかで第14回更生病院ふれあい祭りを開催しました。

元気で可愛いキッズダンス、大正琴、おさな会による舞踊、地域の婦人会の方々の素敵なダンスやボランティアの方による舞踊、当病院の音楽愛好会による演奏など、どれも大盛り上がり。今年は八代工業高校吹奏楽部にお越し頂き、素晴らしい演奏を聴くことが出来、観覧された患者様からは、「また来年も聴きたい」との言葉も聞くことが出来ました。

お楽しみ抽選会は子供、大人共々大喜びのゲーム機、自転車、電化製品、生活用品等があり大盛況でした。

また来年も今年以上に皆様の期待に沿えるよう頑張って行きたいと思っています。



お見事!!ゲートボール優勝

平成24年11月7日
八代市総合グラウンド



秋晴れの中、秋季球技大会が開催されました。

5病院で3種目の競技が行われ、声をかけあいながらチームが1つになり対戦している光景が印象に残りました。

ゲートボール優勝、ソフトボール3位、バレーボール5位、総合2位という成績を収めることができました。

寒い中ではありましたが、皆さん楽しい1日を過ごすことができたのではないでしょうか。

参加された方々お疲れさまでした。

おせち料理

お正月を彩るお祝い料理、保存食として欠かせないものです。本来、季節の変わり目とされる「節」に神様へお供えをし宴を開くという宮中料理「御節供料理」が、しだいに庶民の間に広がり、お正月の「おせち料理」となったそうです。

おせち料理には、豊作祈願、家内安全、子孫繁栄を願う意味が込められており、重箱にも良いことが重なるようにと、それぞれに大切な意味が詰まっているのですね。

お品書き

お口取り

数の子
丹波産黒豆
煮豆
日奈久産
市松かまぼこ

煮物

一口喜こぶ
梅ひねり人参
ふきの門松煮

お口取り

里芋の白煮
椎茸の福芽(含め)
和牛やわらかごぼう巻き

お口取り

一口喜こぶ
梅ひねり人参

甘御揚
飯げ
味物物
焼き物
酢の物
煮物
物
栗の甘露煮
祝い紅白淡雪かん
熊本産干柿
伊達巻
赤飯
黄金巻き寿司
寒梅
梅花れんこん
天草産寒ブリの照り焼き
有頭エビフライ



三中生職場体験

平成24年9月11日～13日

生徒さんには、病院での業務の一部(血圧測定、食事介助、車椅子への移乗・移動など)を体験していただきました。多くの発言・質問があり、緊張しながらも積極的に参加している姿勢が印象に残っています。生徒さんからの感想としては、「介助は難しかった。」「楽しかった。」など様々な意見が出ました。教える側の立場としては、どのように説明したら分かりやすいのか教える難しさを知りました。今回、人に教えるという体験を通して、改め自分自身の知識を振り返ることができ、貴重な経験となりました。

白濱洋一

職場体験感想

車椅子体験では、小学校の時に1回乗ったことがあったけど、自分で歩けない人を車椅子に乗せるときは難しかったです。食事介助では、自分で食べれない人に食事を与える時に、色々言ってやらないといけないのですごいと思った。血圧測定では初めて、自分の血圧を知ることの大切さを知ることができ、すごくためになる体験になりました。

池邊真人

車椅子介助は楽しかったです。特に人を乗せたまま段差や坂道などの障害物を進んだりして、段差を行くのは難しかったです。食事介助体験では、お互いに食べ合いしたりして難しかったです。目隠しをして食べさせてもらったのはすごく怖かったです。この時、声掛けをするのが大切なんだなと改めて思いました。血圧測定は初めてしました。聴診器を使わせてもらい嬉しかったです。色々体験できてよかったです。

山崎日葉里

看護師さんの日常でやっている体験を通して難しかったり、いろいろな体験をさせていただきました。車椅子体験ではその人に合った車椅子を活用し、ペースを考えて声掛けをしたりすることも分かり、難しかつたです。血圧測定では普段しない測り方を教えていただきました。経験したことを活かして将来を考える点での参考にしていきたいと思います

西崎琴美

○(おひさし)B(ぶりです)大集合！

平成24年11月13日
八代ロイヤルホテル

退職されたスタッフ、及び在職者で長期勤務者の交流の場として八代更生病院愛更会が発足されたのが7年前です。恒例の愛更会は今回で8回目を迎えました。

限られた時間ではありましたが、和気あいあいと一時を過ごすことが出来ました。OBの方々と共に仕事をした頃の数々の思い出を懐かしく熱く語らい、また素敵な歌声を披露していただいたりと時間のたつのも忘れるくらい楽しく時を過ごすことができました。

OBの方に於いては、趣味に没頭されいきいきと自分の時間を楽しんでおられる方、また現職で得た知識を生かし医療介護に携わっておられる方など様々で、在職中の私たちに新たな刺激と元気も与えてくれました。

最後に今後も病院の繁栄とともに参加者全員の健康と発展を祈念し、次回の再会を楽しみにという意味を含め、一本締めと閉会の挨拶で第8回愛更会は幕を閉じました。



平成24年9月11日(火)のタイムスケジュール

9:00～11:00	デイケアとは
11:00～12:00	看護師の仕事
12:00～12:30	病院案内
13:30～13:50	放射線技師の仕事
13:50～14:10	薬剤師の仕事
14:10～14:30	精神保健福祉士の仕事
14:30～15:00	記録(実習生)

平成24年9月12日(水)のタイムスケジュール

10:00～12:30	看護体験 食事介助 車椅子介助 血圧の測り方 患者様への言葉のかけ方
13:30～13:50	訪問看護師の仕事
13:50～14:10	精神科医師の仕事
14:10～14:30	管理栄養士の仕事
14:30～15:00	記録(実習生)

平成24年9月13日(木)のタイムスケジュール

9:00～12:30	作業療法士の仕事 作業療法見学
13:30～14:30	デイケア参加
14:30～15:00	体験を終えて

「前頭側頭認知症の排泄行動自立への看護」

平成24年9月14日
5病棟 久野綾子

日本精神看護技術協会「精神看護実践のリフレクションと研究」に参加して、看護師として初めての事例研究（事例に基づいて看護の意味を抽出方法論に結びつける研究）に取り組みました。認知症治療病棟に務め2年、様々な患者様方との関わりを持つことができました。今回、認知機能の低下から排泄行動が出来なくなる患者様に対しどこができる、どこができないのかの見極めを行いスタッフ間で統一した看護を行い、患者様の生活パターンに沿った介入が有効であった事例を報告しました。個々の持てる能力を維持させることができることが情緒面の安定や尊厳の保持へと繋がる事など学びの多い研究でした。



「認知症患者のクリニカルパスを利用して」

平成24年10月25日
3病棟 長瀬智人、犬置明久



今回、急性期病棟入院の認知症患者に対しクリニカルパスを用い退院促進に努めた取組みをまとめ発表しました。認知症治療ミーティングを実施しながらチームで関わることで認知症患者の早期退院、社会復帰が行えました。

学会では他の病院の認知症患者への取り組みや急性期における退院促進など認知症患者の特徴・支援・課題や急性期病棟の取り組みなどを学ぶ事が出来、自分の発表と照らし合わせてみると、より学びの深いものとなりました。

今後も認知症患者はもとより各種疾患の患者の退院促進に向け今回の経験を踏まえより良い看護の実践、提供が出来ればと思います。

「働くことについて考える」

平成24年12月8日
デイケア 渡邊崇顕

熊本市総合保健福祉センター ウエルパルにおいて第29回熊本県精神科リハビリテーション研究会が開催されました。6題の研究発表と「リワーク支援について」のシンポジウムがありました。

一番心に残った発表はWRAPファシリテーターである当事者の発表でタイトルは、WRAP(元気回復行動プラン)～当事者が生き生きと暮らすための支援でした。リカバリーについての語りのなかに「精神疾患をもつことは私の人生の一部ではありますか人生の中心ではありません。」又、援助者として大切にしていることについて「皆が可能性を引き出せるような支援をしたい、当事者同士の支え合いをうまく実行するには皆で集まって学び合うことが大事」支援した仲間が変化してきたことの例として、「友達を作りたくても相手の意見を聴けなかった人がサポートを受けながら人の話を聴けるようになったりする。」とのことでした。発表者はWRAPについての知識も深め、ファシリテーターとして自信もって行動できており、言葉一つ一つが心に響くものがありました。

地域支援を担うスタッフとして改めてリカバリー、WRAPについて認識を深める機会となりました。

外来診療案内

		月	火	水	木	金	土
午前	新来	○	○	○	○	○	
	再来	○	○	○	○	○	○
午後	予約外来					休診	

- 診療科目
精神科・心療内科・内科

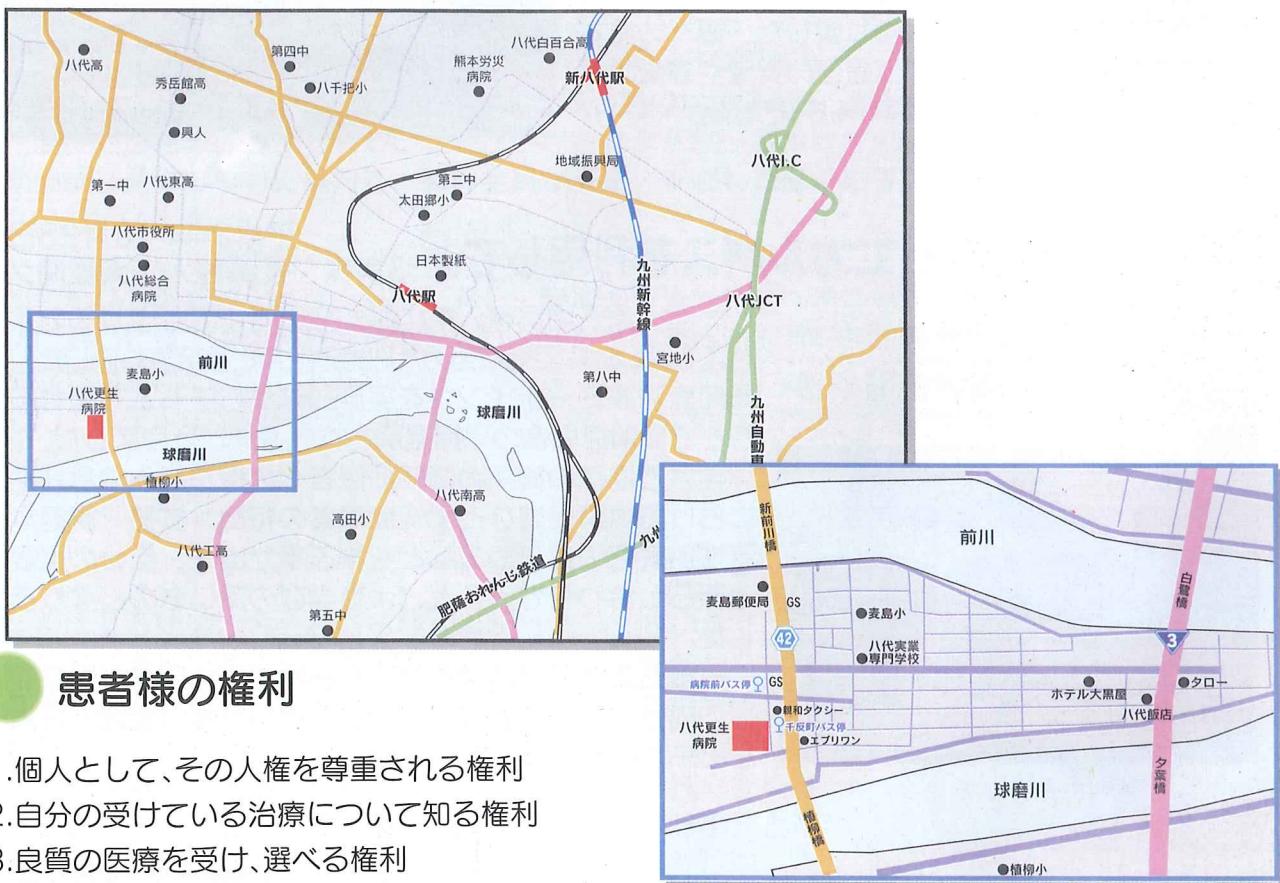
受付時間

新来 午前 8:30~11:30 (月~金)
 再来 午前 8:30~12:00 (月~土)
 午後 13:30~16:00 (月~金)

新来は予約制で月~金曜日の午前中のみとなります。

※精神科医が担当します

交通のご案内



患者様の権利

- 個人として、その人権を尊重される権利
- 自分の受けている治療について知る権利
- 良質の医療を受け、選べる権利
- 公平で差別されない医療、及び、対応を受ける権利
- 安心、安全な環境で治療を受ける権利

JR八代駅から……車で15分
 バスでお越しの際は八代駅方面から
 産交バス植柳経由南平和町行き
 又は植柳経由君ヶ渕・破木・坂本駅行きにお乗り下さい
 産交バス千反町バス停より徒歩3分
 ゆめバス病院前バス停より徒歩3分



医療法人 山田会
八代更生病院

〒866-0043 八代市古城町1705

TEL (0965)33-4205

FAX (0965)35-8275

URL <http://www.y-kousei.jp/>

mail info@y-kousei.jp